

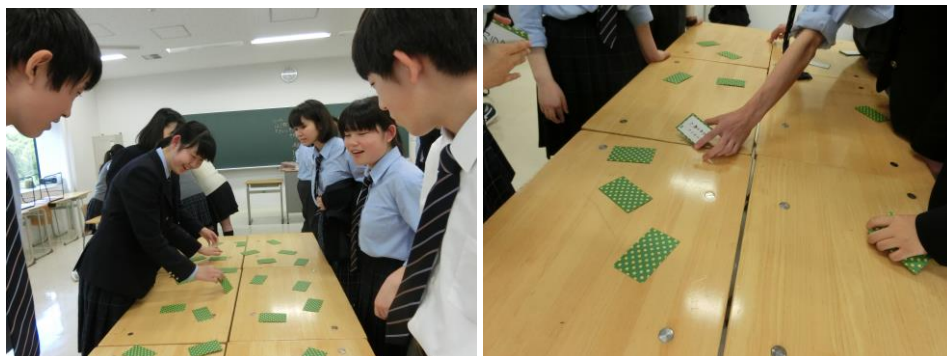
図書室だより vol.138

4月25日(水)に図書委員会企画部主催の新入生歓迎神経衰弱大会を行いました。
 今回の大会は、図書委員一人ひとりのオススメ本が取り札になっている手作りのもので行いました。
 たくさんの1年生と2,3年生が真剣勝負を繰り広げ、会場は笑顔や歓声に包まれました。今年は、
 3年生の参加も増え、より盛り上がりました。結果は1位が3年生、2位が1年生、3位が2年生となり
 ました。

上位入所者は次の方たちです。

- ★★★優勝 3B Tさん
- ★★準優勝 1D Kさん
- ★第3位 2C Nさん
- ★第3位 2C Fさん

今後、図書委員会で行ってほしい
 企画のリクエストやアイデアも
 お待ちしています！



☆図書委員からのオススメ☆

『村上海賊の娘』 和田竜 著 新潮文庫(B913-7-1~4)

私が今回紹介するのは和田竜作の『村上海賊の娘』です。

この作品は本屋大賞、そして吉川英治文学新人賞をダブル受賞しました。
 単行本では上下巻、文庫本では全4巻、漫画では現在8巻まで出版しています。

時は戦国、天下一の海賊と呼ばれる村上海賊には
 景(きょう)という20歳の女がいました。

男勝りで戦いを求める女で、醜女であり
 さらに素行が悪かったため嫁の貰い手は現れません。
 女は軍船に乗ってはいけないという掟がありながらも海賊働きと称して
 戦いをしてしまう景を嫁に出そうとしましたが、
 毛利家、織田方、大坂本願寺の一派との戦いが始まってしまいます。

この作品で私が特に印象深かったのは、戦闘の場面です。

景の動きはもちろん表情も細かく書かれ、
 その戦いがまるで今行われているのではないと思いました。

相手の首を取るまでが勝負という
 戦国の激しい戦いをぜひ読んで感じてほしいです。